

■出題傾向

出題頻度は極めて高く、全レベルの大学に出題されますが、客観選択問題が中心で、難関大学になるほど、正誤指摘問題の形式を好むと言えます。近年の傾向としては、進行形にしよう動詞かどうかを問うものが増加しており、一種の「動詞の語法」が、時制の問題として出題される傾向が強まっています。

■テキスト構成/留意点

be about to do / be going to do は、本章で扱っています。

・例題 17 ----- ③	【過去(現在・未来)時制の用法】
彼がそうするのを見ると、私は腹が立った。	
・例題 18 ----- ②	【進行形の用法】
彼女はふつうラジオを聞くが、今はテレビを見ている。	
・例題 19 ----- ①	【進行形にできない動詞】
トムは、これらの島は日本の領土なのだろうかと思っている。	
・例題 20 ----- ②	【確定的な未来の予定を表す進行形】
彼らは、明日、成田に着きます。	
・例題 21 ----- ③	【完了形の用法】
あなたが明日の晩7時にいらっしゃるのなら、私たちは夕食をすでに終えているでしょう。	
・例題 22 ----- ③	【完了進行形の用法】
A: トムは遅刻だね。もう1時間も待っているのに。 B: そうだね。彼に何か事故でもあったのだろうか。	
・例題 23 ----- ②	【現在完了と併用不可の表現】
「いつここに着いたのですか」「たった今です」	
・例題 24 ----- ②	【時・条件の副詞節 — 未来のことでも現在時制】
あなたが私の家族に会いに来るとき、私は家にいないでしょう。	
・例題 25 ----- ②	【be going to do の用法】
今度の週末何をするつもりですか。	
・例題 26 ----- ②	【have been dead for A とその書きかえ】
私の父が死んで40年になる。	

①

- ③ その有名な作家は2年前にそのSF小説を書いた。▶ 例題 17
- ④ 今年の年末までにその数字が約500に増えると本当に思いますか。▶ 例題 17
- ① 私はあの本がほしいのだが、お金が足りない。▶ 例題 17
❖ would like の would に惑わされて②を選ばないように指導したい。
- ④ 「あの有名な桜の木は公害のために枯れかけています」「ええ。あの木を救うために、私たちは何かしなくてはなりません」▶ 例題 18
- ③ 少年のうちの1人がおぼれかけていましたが、私が飛び込んで助けました。▶ 例題 18
❖ ① drowned, ② was drowned はいずれも「おぼれた」ことになり、文脈に合わない。
- ④ 実際のところ、彼は保守的なほうだ。だからあの政党に入っているんだよ。▶ 例題 19
❖ belong は進行形にしない動詞。
- ① 私はその店で買うワインは、値段の割においしい。▶ 例題 19
❖ taste を「…の味見をする」の意味で用いる場合には進行形にすることができる点にも注意させたい。
- ② 上司は昼食をとっているところだったので、私に会いたくなかった。▶ 例題 19
❖ 「…を食べる」の意味の have は進行形にできる。
- ④ 彼らは明日ロンドンへ向けて出発します。▶ 例題 20
❖ 進行形で未来の確定的な予定を表す用法。
- ② あなたの覚え書きをコピーし終わったらすぐに返します。▶ 例題 24
- ③ 「これが私の電話番号です」「ありがとう。もし助けが必要になったら明日電話します」▶ 例題 24

- ③ 彼女が明日来るかどうかは疑わしい。▶ 例題 24
❖ 11番, 12番で「if-節の見分け」を確認させたい。
- ① あなたの友だちが到着したら、とても疲れているだろう。▶ 例題 24
- ③ その推理小説を読み終えたら、貸してあげるよ。▶ 例題 24
- ④ 彼がこの次いつ来るのか見当もつかない。▶ 例題 24
❖ 13番, 14番, 15番で「when-節の見分け」を確認させたい。
- ② もうじききっと雨が降るだろう。1か月以上もまったく降っていない。▶ 例題 21
- ② 私が1959年に初めて大阪に来たときは、大きなビルはそう多く建てられていなかった。▶ 例題 21
- ④ 来月末までに、彼らは5,000マイル以上運転することになる。▶ 例題 21
- ④ ボブは昨年大学を卒業して以来、アジア各地を旅行している。▶ 例題 22
- ① リサはその問題に5時間取り組み、やっと解いた。▶ 例題 22
- ② メアリーと私は親友同士です。私たちはお互いを子どものころから知っています。▶ 例題 19, 21, 22
❖ know は進行形にできない動詞なので③は不可であることを強調したい。
- ② あなたはいつ大学を卒業しましたか。▶ 例題 23
- ④ 私は子どものころ3年間京都に住んでいました。▶ 例題 23
❖ 過去の事実として表現していることに注意させたい。
- ③ 「あの映画を観たことがありますか」「はい。東京にいたときに、3回観ました」▶ 例題 23
❖ 23番と同様、過去の事実として表現している点に注意させたい。
- ③ キャロリンは、10年前にトランペットを習い始めた。▶ 例題 23
❖ 過去時制を使っていることから副詞句を選ばせる問題。
- ④ 彼はたった今ホテルに着きました。▶ 例題 23
❖ 「今しがた」の意味での just now は過去時制で用いる。ただし、主として状態を表す動詞の現在時制で用いられ「ちょうど今」の意味を表すこともある。cf. My mother is busy just now.
- ③ 「雪はもっと長く降ると思いますか」「すぐにやみそうだよ」▶ 例題 25
- ① 今、あなたの仕事について話し合う時間はありますか、それとも出かけるところですか。▶ 例題 25
- ② 学校を卒業してから3年になります。▶ 例題 26
- ④ 私の叔父は死んで3年になる。▶ 例題 26

②

- ① it will be → it is
明日天気良ければ、私たちはサンセットビーチヘビクニックに行くかもしれない。▶ 例題 24
- ① were playing → had been playing
サッカーの試合を中断しなければならなかった。1時間ほどプレーしたところで、激しい嵐になった。▶ 例題 22
- ③ I am in such a hurry → I was in such a hurry
ここに時間どおりに着いたが、とても急いでいたので先に朝食をとるようにはできなかった。▶ 例題 17
❖ 全体の文脈が過去の内容であることに着目させたい。

③

1. He (had not been employed six months before he was fired). ▶ 例題 20
2. If it is fine, (we are going to conquer that peak). ▶ 例題 25
3. Tom was (about to make a comeback when) he was killed in a traffic accident. ▶ 例題 25
❖ 与えられた和文と英文の文構造との落差にも注意させたい。
4. (Five years have passed since my family) moved to Nagoya. (for, it 不要) ▶ 例題 26
5. (I have been taking vitamin supplements since last) year. ▶ 例題 22
6. I (had not waited long before he appeared). ▶ 例題 21
❖ 与えられた和文と英文の文構造との落差にも注意させたい。本問の not が hardly / scarcely になったものがいわゆる「... hardly[scarcely] ... when[before] ~」の構文である。